

アゼルバイジャンの景況感、幸福感(GIA 国際世論調査)

1. 調査概要

日本リサーチセンターが加盟するギャラップ・インターナショナル・アソシエーション(GIA)では、毎年、世界各国と地域の人々を対象とした国際世論調査「エンド・オブ・イヤーサーベイ」を実施しています。今回(2021 年版)は、45 か国・地域の人々を対象に、2022 年の見通し、景況感、幸福感についての調査結果が公表されました。詳細は以下をご覧ください。

【日本語版】

https://www.nrc.co.jp/report/img/2021_EOY_Japan_Report1_0302.pdf

【英語版】

<https://gallup-international.com/survey-results/survey-result/less-hope-and-happiness-in-the-world-2021>

2. 調査結果

この調査結果では、アゼルバイジャンが 2022 年の見通し、景況感、幸福感のいずれにおいても上位を占めています。特に景況感について、「2021 年より悪くなる」と回答した割合が多い国・地域が 31 もある中、アゼルバイジャンは「景気が良くなる」と回答した割合が大変高く、自国の将来に明るいイメージをもっていることが窺われます。

- ① 「2022 年は 2021 年より良くなる」と回答した割合が「悪くなる」と回答した割合を超えた国・地域(45か国・地域平均は 17 ポイント):1位インドネシア 72 ポイント、2位アルバニア 65 ポイント、**3位アゼルバイジャン 53 ポイント**
- ② 「2022 年は 2021 年より景気が良くなる」と回答した割合が「景気が悪くなる」と回答した割合を超えた国・地域(45か国・地域平均は -15 ポイント):1位インドネシア48ポイント、**2位アゼルバイジャン 44 ポイント**、3位ナイジェリア39ポイント
- ③ 「あなたの人生は幸せか不幸せか」についても、「幸せ」が「不幸せ」を大きく上回った国として**アゼルバイジャンは6位**に挙げられています。

(以上)